

キャリアス就活  
[career+]

# 2024年卒 理系学生の就職活動（専攻分野別）

2023年8月

株式会社ディスコ キャリタスリサーチ

# 調査概要

2024年卒の理系学生の就職活動に関する調査データの中から、主なものを抜粋し、4つの専攻分野（機械・電気系／情報系／土木・建築系／化学・農学・薬学系）、あるいは文系学生との比較を通して、特徴を分析した。

## <目次>

1. 就職活動量（7月時点）
2. 業界研究を始めた時期
3. 業界研究に有益な情報源
4. インターンシップ等参加状況
5. 本選考に応募した企業の内訳
6. 初回内定時期
7. 就職先を決めて就活を終了した時期
8. 就職決定業界
9. 就職決定職種、専攻分野との関連
10. 就職決定企業への応募ルート、当初志望度
11. 就職決定企業で働きたいと思ったタイミング
12. 就職決定企業のインターンシップ等参加状況
13. 就職決定企業に決めた理由
14. 就職環境への考え（売り手市場の実感）

P 3  
P 4  
P 5  
P 6  
P 7  
P 8  
P 9  
P10  
P11  
P12  
P13  
P14  
P15  
P16

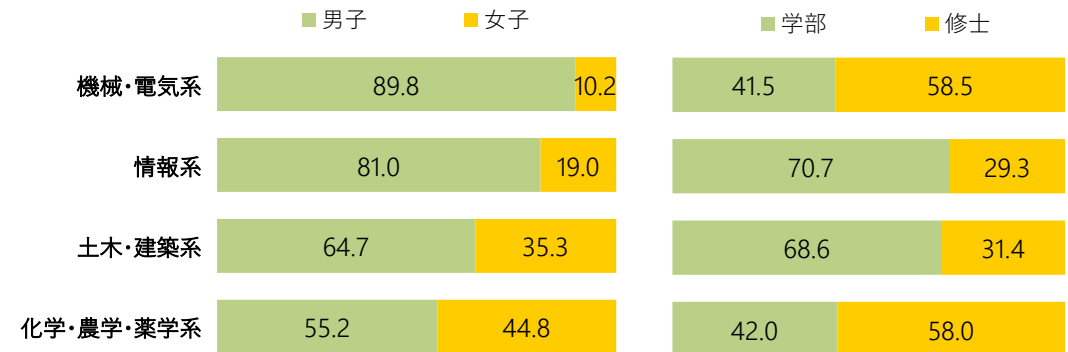
## <調査概要>

調査対象 : 2024年3月に卒業予定の理系大学生・大学院生  
 サンプルング : キャリタス就活2024 学生モニター  
 調査方法 : インターネット調査法

	第5回調査	第7回調査	第8回調査	第9回調査	インターンシップ等 特別調査	就職情報収集に 関する特別調査
調査時期	2023年3月	2023年5月	2023年6月	2023年7月	2023年3月	2023年6月
回答者数	1,264人	1,252人	1,221人	1,238人	773人	1,002人
理系全体	472人	471人	478人	478人	313人	397人
機械・電気系	118人	119人	123人	125人	85人	104人
情報系	82人	81人	79人	85人	47人	66人
土木・建築系	53人	51人	51人	51人	28人	43人
化学・農学・薬学系	121人	113人	124人	118人	80人	96人

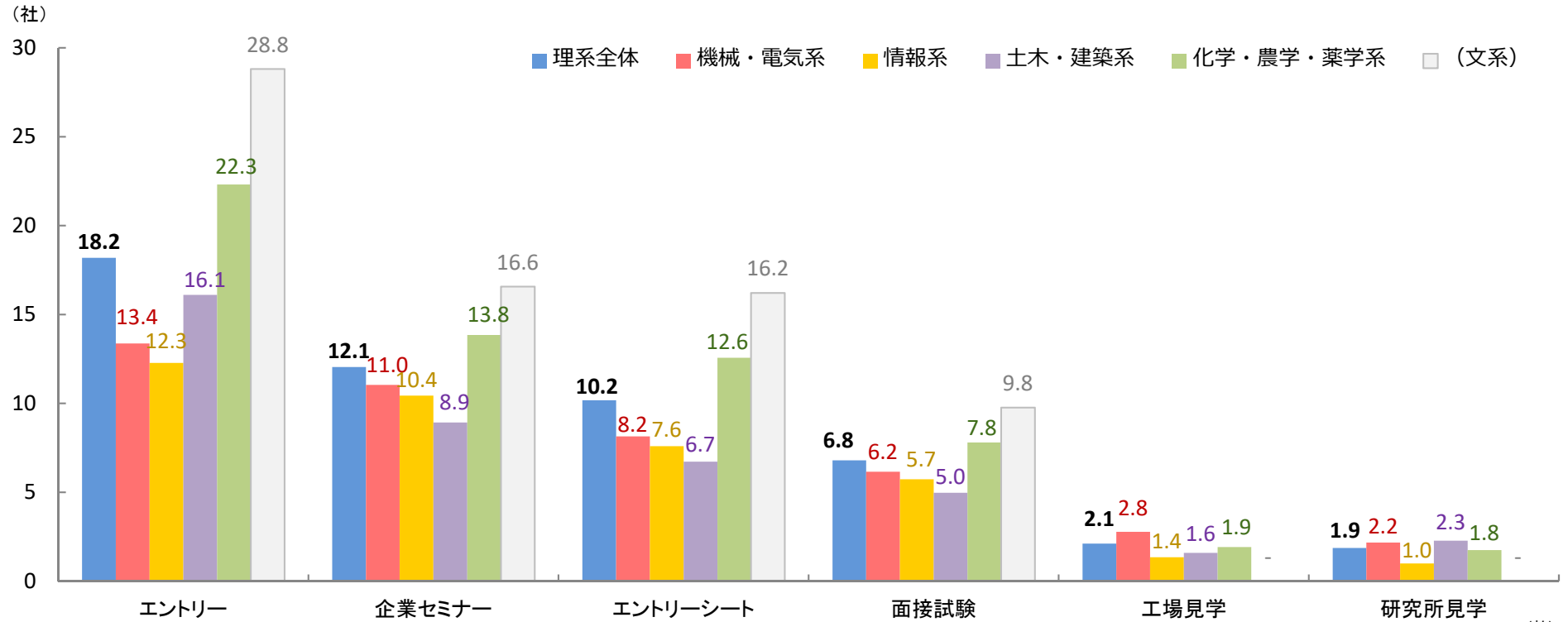
※上記以外の専攻系統も「理系全体」に含まれる。そのため、4専攻系統の人数の合計は「理系全体」と一致しない。

## (モニター構成比：%)



# 1. 就職活動量(平均社数／7月時点)

- 理系学生の活動量(社数)は、すべてのフェーズにおいて文系を下回り、企業を絞って活動する傾向が強い。
- エントリーシート(ES)提出社数はすべての専攻分野で前年調査より減少した。
- 理系の中では土木・建築系、情報系でES社数が少なく、化学・農学・薬学系は比較的活動量が多い。



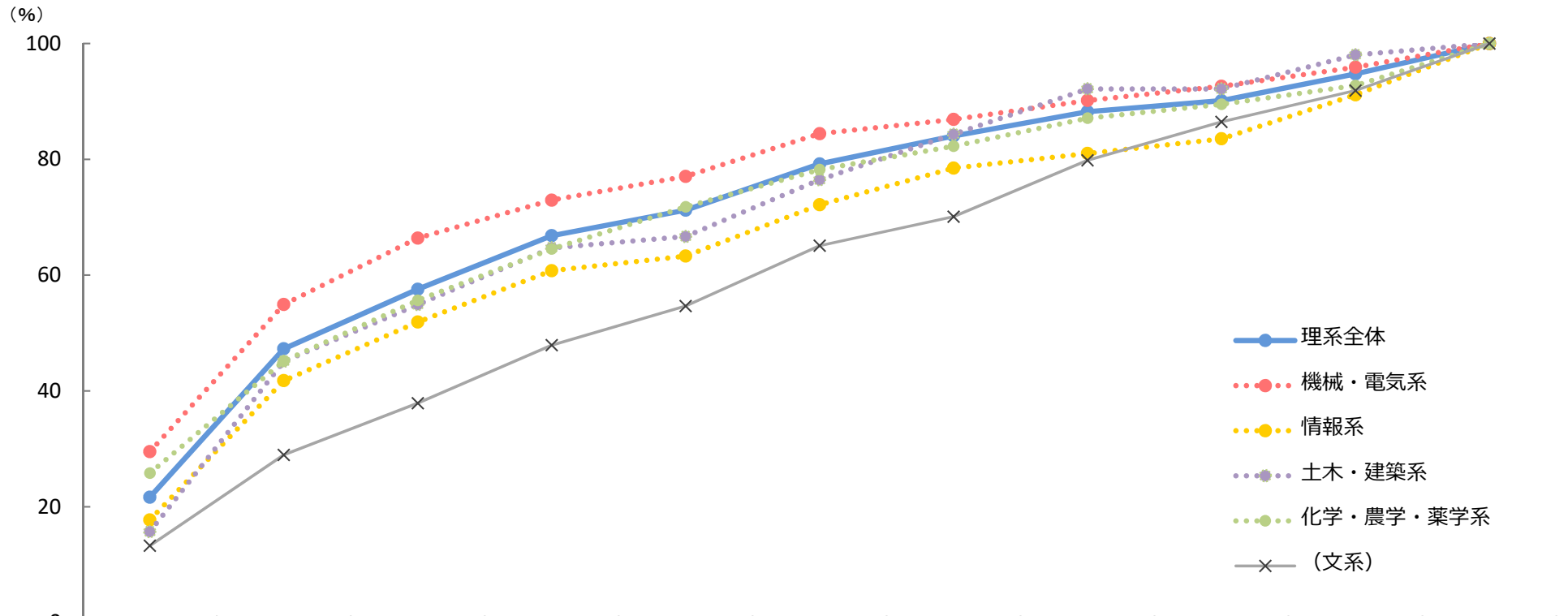
【前年比較】

	23年卒		24年卒		23年卒		24年卒		23年卒		24年卒		23年卒		24年卒	
理系全体	18.8	18.2	12.8	12.1	11.7	10.2	7.2	6.8	2.0	2.1	1.5	1.9	1.5	1.9		
機械・電気系	12.1	13.4	11.7	11.0	8.7	8.2	5.9	6.2	1.9	2.8	1.1	2.2	1.1	2.2		
情報系	15.0	12.3	10.3	10.4	8.9	7.6	5.9	5.7	1.3	1.4	1.0	1.0	1.0	1.0		
土木・建築系	14.8	16.1	11.1	8.9	8.5	6.7	5.3	5.0	1.7	1.6	1.5	2.3	1.5	2.3		
化学・農学・薬学系	25.6	22.3	13.7	13.8	15.0	12.6	7.7	7.8	2.7	1.9	1.5	1.8	1.5	1.8		
(文系)	31.6	28.8	19.5	16.6	17.2	16.2	10.3	9.8	-	-	-	-	-	-		

※社数はそれぞれ受験者を分母に、平均社数を算出

## 2. 業界研究を始めた時期

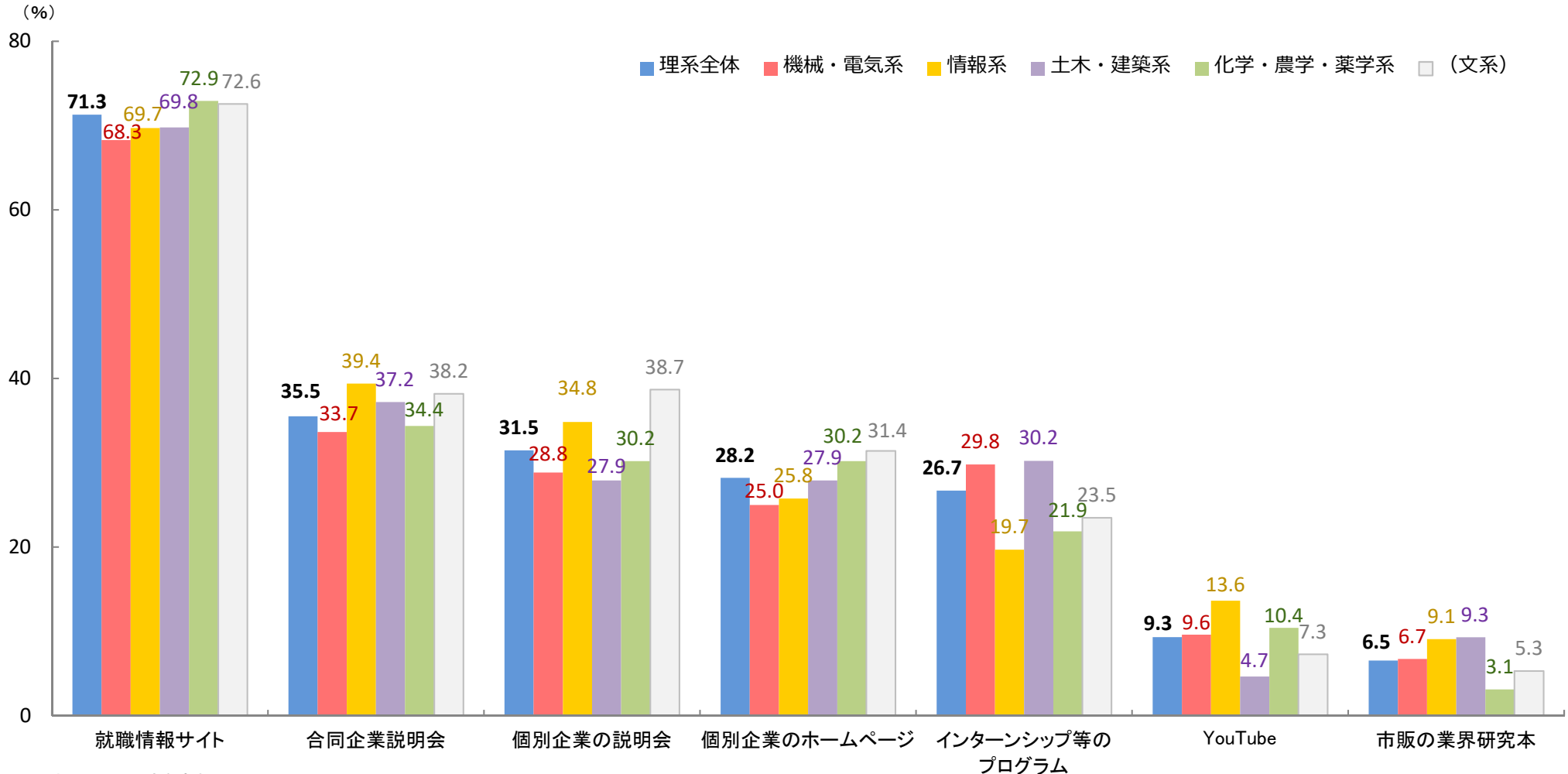
- 理系は文系に比べ業界研究の取り掛かりが早く、3年生(修士1年)7月時点で半数を超え(57.6%)、10月には約8割に達した(79.2%)。
- 中でも機械・電気系学生は特に早く、6月には過半数に達するなど(54.9%)、他の専攻分野を上回る数字で推移。



	2022年 5月以前	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	2023年 1月	2月	3月以降
理系全体	21.6	47.3	57.6	66.8	71.2	79.2	84.0	88.2	90.1	94.7	100.0
機械・電気系	29.5	54.9	66.4	73.0	77.0	84.4	86.9	90.2	92.6	95.9	100.0
情報系	17.7	41.8	51.9	60.8	63.3	72.2	78.5	81.0	83.5	91.1	100.0
土木・建築系	15.7	45.1	54.9	64.7	66.7	76.5	84.3	92.2	92.2	98.0	100.0
化学・農学・薬学系	25.8	45.2	55.6	64.5	71.8	78.2	82.3	87.1	89.5	92.7	100.0
(文系)	13.3	29.0	37.9	47.9	54.7	65.1	70.1	79.8	86.5	91.9	100.0

### 3. 業界研究に有益な情報源

- いずれの属性も「就職情報サイト」が約7割で最多。理系学生は「合同企業説明会」、「個別企業の説明会」と続く。
- 専攻分野による大きな違いは見られないが、情報系学生において、「合同企業説明会」「個別企業の説明会」が他よりやや高い。
- 多くの項目で文系が理系を上回るが、「インターンシップ等のプログラム」「YouTube」などは理系が文系を上回る。

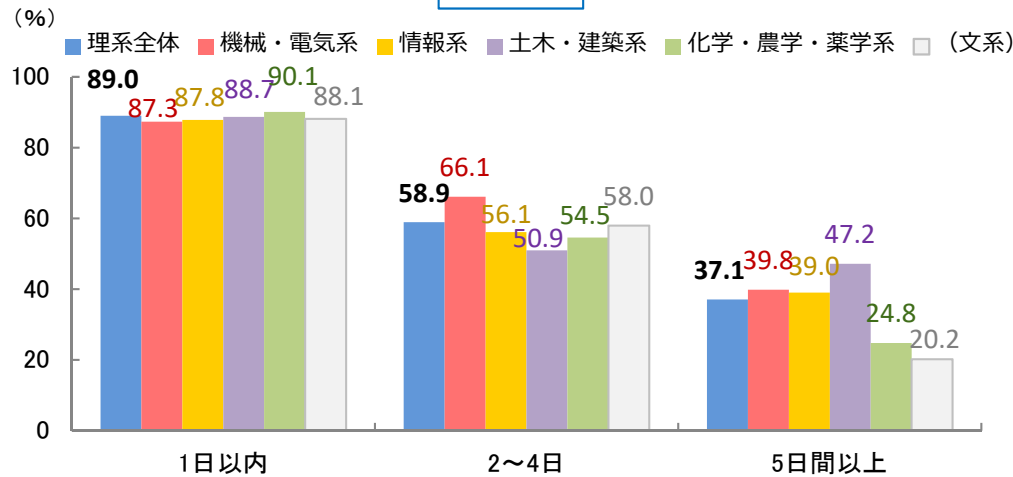


※オンライン形式を含む

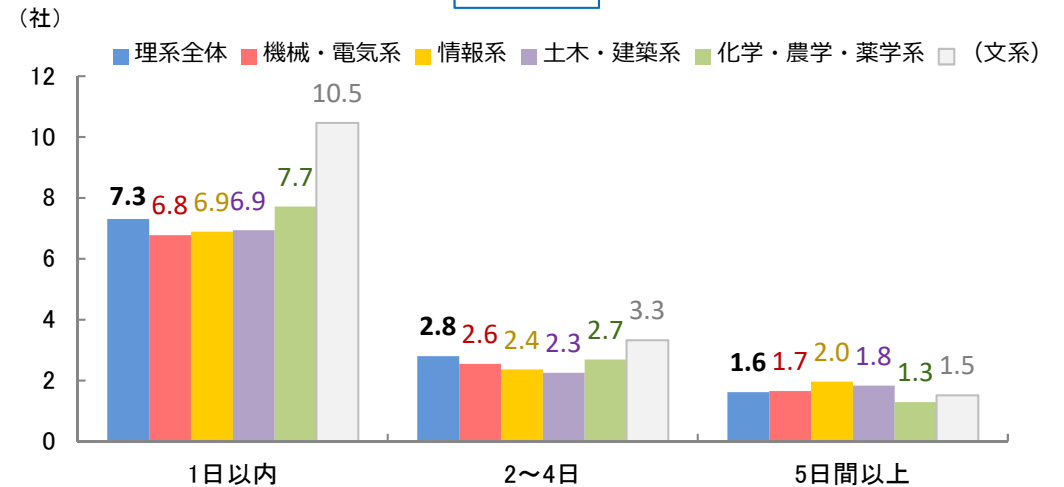
## 4. インターンシップ等参加状況

- 1日以内のプログラムは、いずれの属性も約9割が参加経験を持つ。土木・建築系は5日間以上への参加が他の専攻より多い(47.2%)。
- 参加社数は1日以内のプログラムにおいて文理差が大きく、文系(10.5社)より3社以上少ない(7.3社)。
- 参加時期の内訳は、いずれの属性も8月が最多で9月が次点。夏季休暇が中心。特に土木・建築系において夏の参加割合が高い。

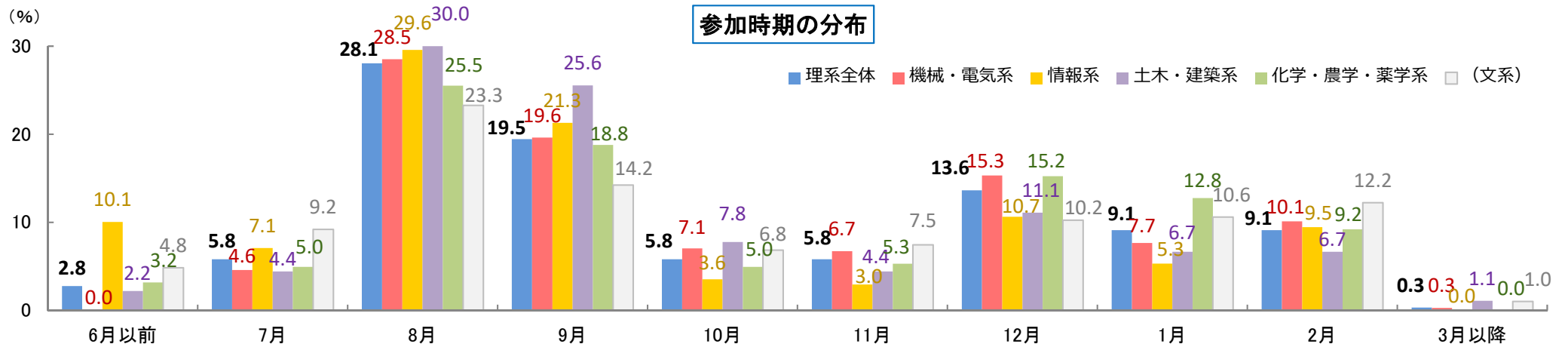
参加経験



参加社数



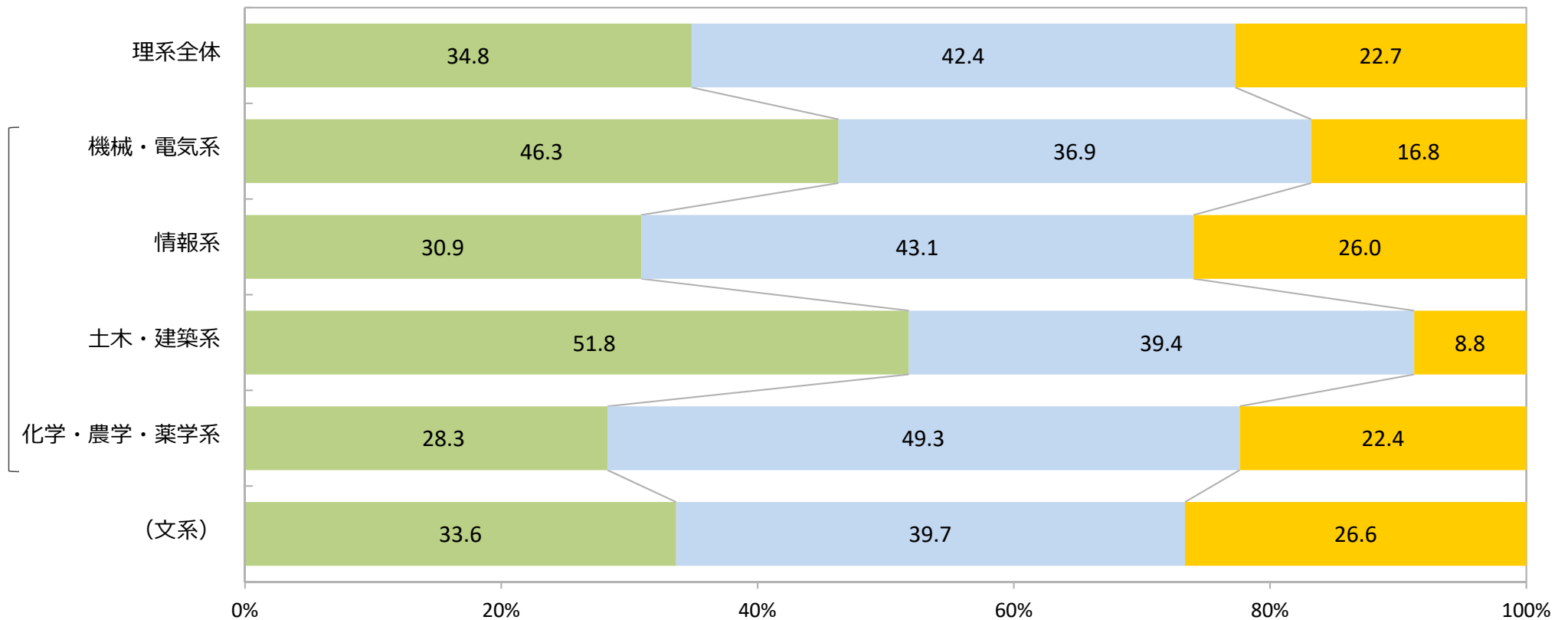
参加時期の分布



## 5. 本選考に応募した企業の内訳

- 「インターンシップ等参加企業」と「2月以前から興味を持っていた企業」の合計が8割近くを占める(計77.2%)。
- 特に、土木・建築系と機械・電気系において、プレ期に出合ったり、興味を持った企業の占める割合が高い(計91.2%、計83.2%)。

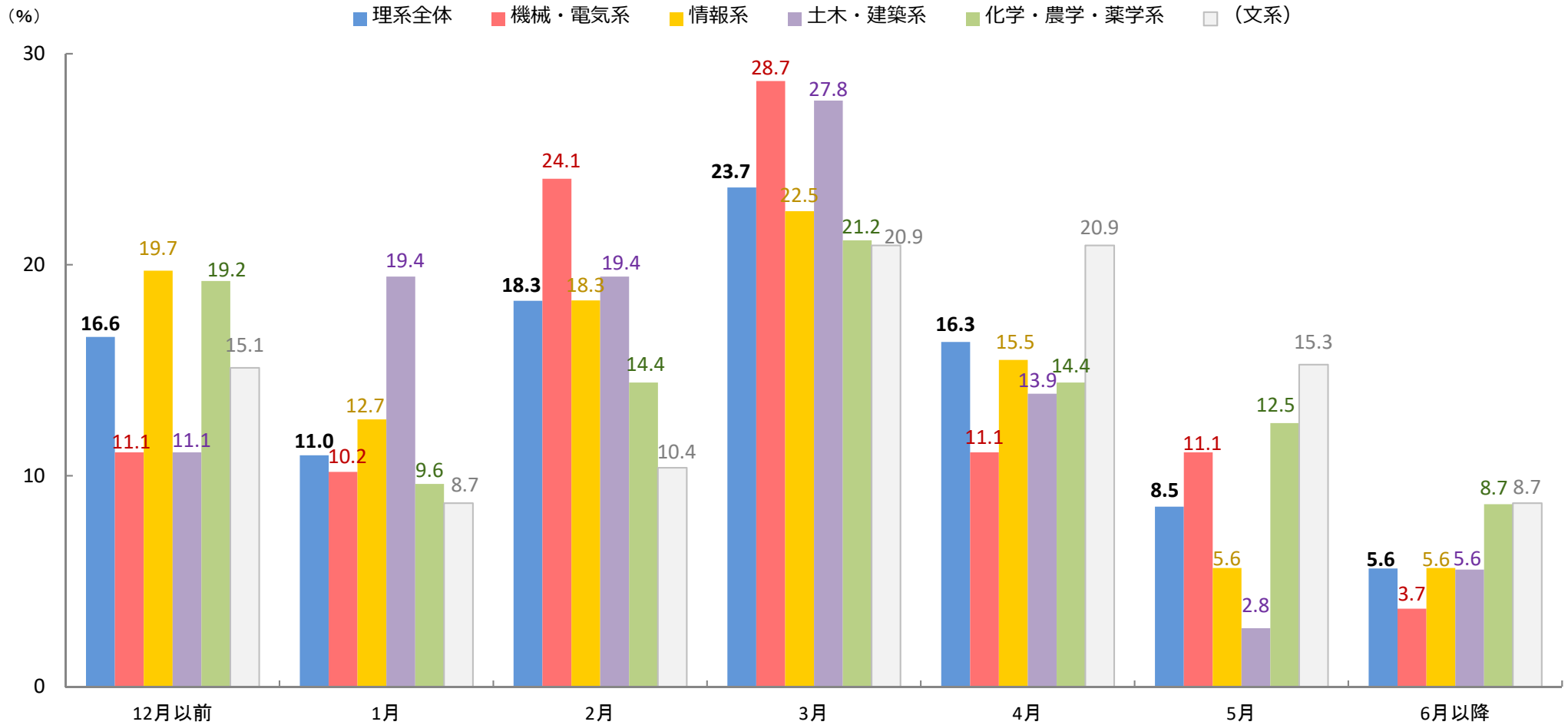
- インターンシップ等のプログラムに参加した企業
- インターンシップ等には参加していないが、2月以前から興味を持っていた企業
- 3月以降に興味を持った企業



※ES提出など本選考に応募した企業の社数の内訳

## 6. 初回内定時期

- 7月1日時点で内定を得ている学生に、初めて内定を得た時期を尋ねた。
- 理系は文系よりも早い時期の数字が高く、早期に内定を手にする学生が多い。
- 機械・電気系と土木・建築系は3月が3割近くに上り集中(28.7%、27.8%)、情報系、化学・農学・薬学系は比較的分散している。

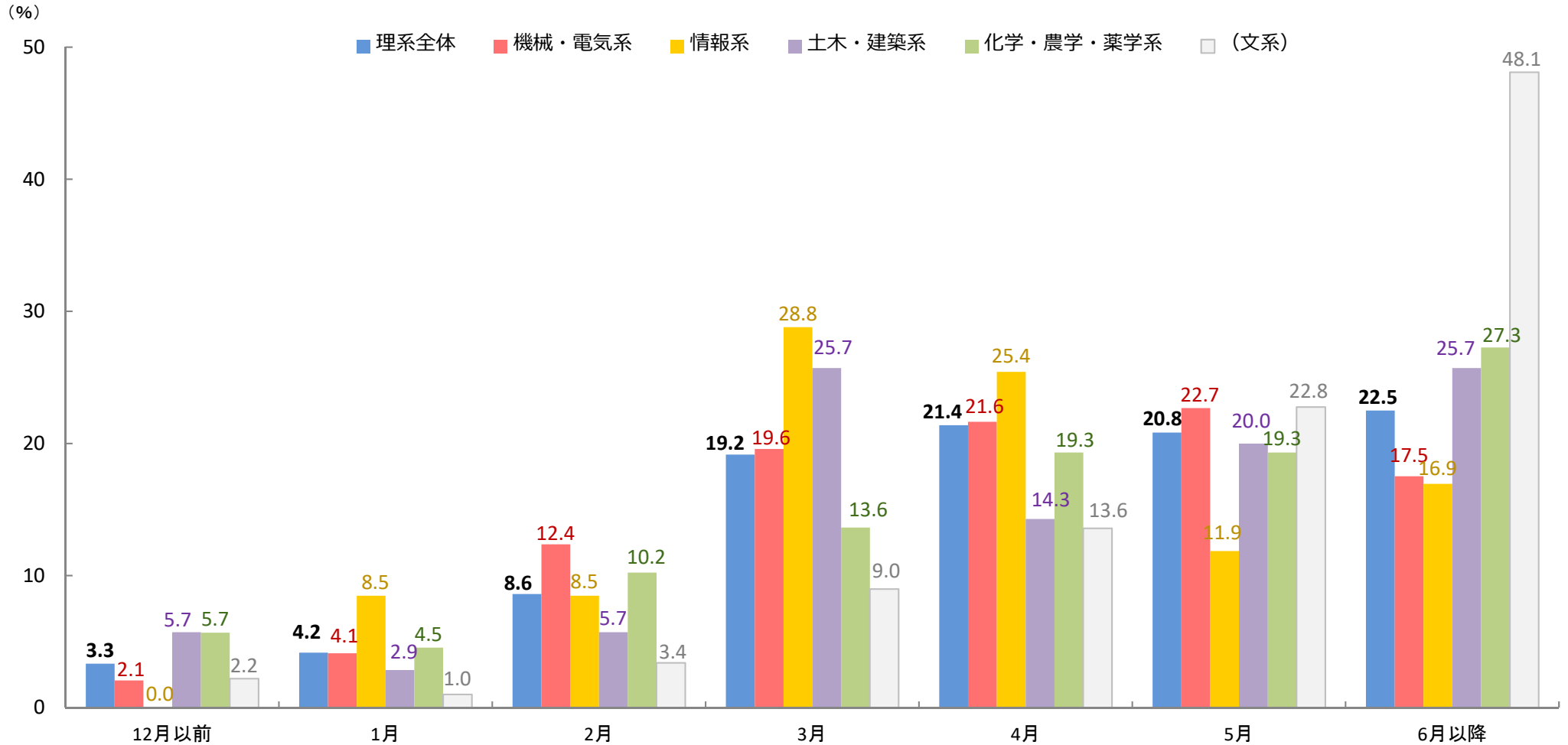


※7月1日時点の内定取得者が回答



## 7. 就職先を決めて就活を終了した時期

- 理系は3月から2割前後が続き、早期に終了する学生も少なくないが、文系は6月以降に集中している(48.1%)。
- 最も早いのは情報系で、3月にピークが来ている(28.8%)。土木・建築系は3月と6月以降に山が分かれている(25.7%)。化学・農学・薬学系は理系の中では最も遅く、6月以降が最多(27.3%)。



※7月1日時点の就職先決定者が回答

## 8. 就職決定業界(上位業界)

- 機械・電気系学生は、1位「電子・電機」(20.6%)、2位「自動車・輸送用機器」(16.5%)と続き、メーカーを中心に分散している。
- 土木・建築系学生は「建設・住宅・不動産」(74.3%)に、情報系学生は「情報処理・ソフトウェア・ゲームソフト」(42.4%)に集中。
- 化学・農学・薬学系はメーカーを中心としながらも、「情報処理」や「調査・コンサルタント」なども上位にあがった。

(%)

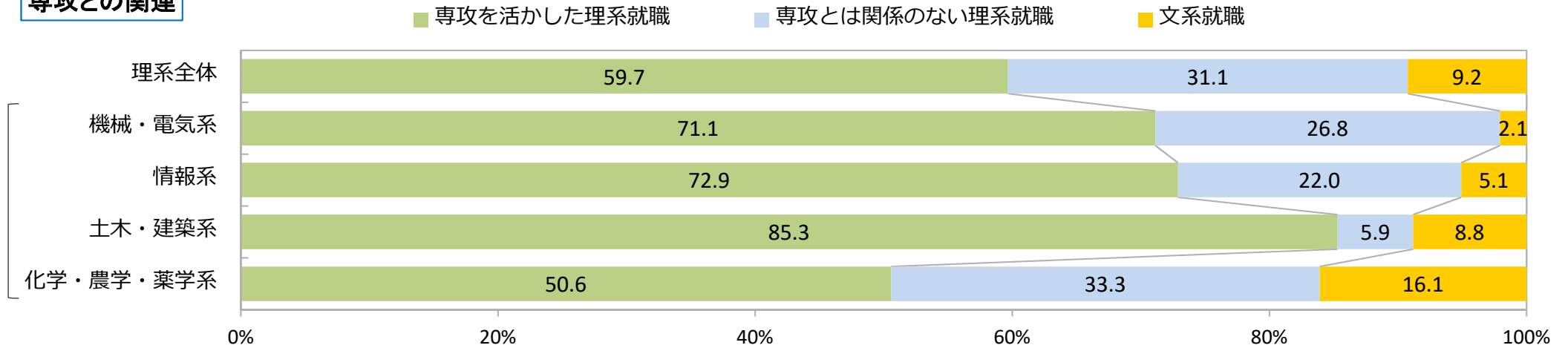
順位	理系		機械・電気系		情報系		土木・建築系		化学・農学・薬学系		(文系)	
	就職決定業界	割合	就職決定業界	割合	就職決定業界	割合	就職決定業界	割合	就職決定業界	割合	就職決定業界	割合
1	情報処理・ソフトウェア・ゲームソフト	12.8	電子・電機	20.6	情報処理・ソフトウェア・ゲームソフト	42.4	建設・住宅・不動産	74.3	素材・化学	19.3	情報処理・ソフトウェア・ゲームソフト	11.4
2	電子・電機	11.4	自動車・輸送用機器	16.5	電子・電機	15.3	素材・化学	5.7	水産・食品	14.8	銀行	8.2
3	建設・住宅・不動産	11.1	機械・プラントエンジニアリング	14.4	通信関連	6.8	調査・コンサルタント		医薬品・医療関連・化粧品	9.1	調査・コンサルタント	6.6
4	自動車・輸送用機器	7.8	運輸・倉庫	8.2	人材サービス・人材紹介・人材派遣	5.1	農業・林業・鉱業	6.8	情報処理・ソフトウェア・ゲームソフト	6.8	建設・住宅・不動産	5.8
5	素材・化学	7.5	精密機器・医療用機器	6.2	建設・住宅・不動産		5.1		官公庁・団体		調査・コンサルタント	5.4
6	機械・プラントエンジニアリング	6.1	建設・住宅・不動産	5.2	自動車・輸送用機器	3.4	保険	2.9	電子・電機	5.7	運輸・倉庫	4.2
7	水産・食品	5.3	エネルギー		5.2		機械・プラントエンジニアリング	3.4	OA機器・家具・スポーツ・玩具他	3.4	自動車・輸送用機器	3.4
8	調査・コンサルタント	4.4	通信関連	3.4	精密機器・医療用機器	3.4	その他サービス		3.4		エネルギー	
								鉄鋼・非鉄・金属製品				

※「その他サービス」=介護・福祉サービス、アウトソーシングなどのサービス業

## 9. 就職決定職種、専攻分野との関連

- 理系全体の6割近く(59.7%)が、専攻を活かした理系就職であると回答。化学・農学・薬学系は専攻と関係のない分野に進む割合が高め。
- 決定職種は、情報系学生は「IT系」、土木・建築系学生は「建築・土木設計系」が7割を占め、専攻分野への集中度が高い。
- 「IT系」職種はいずれの専攻分野も3位以内に入り、専攻によらず多くの学生の進路として選ばれていることがわかる。

### 専攻との関連



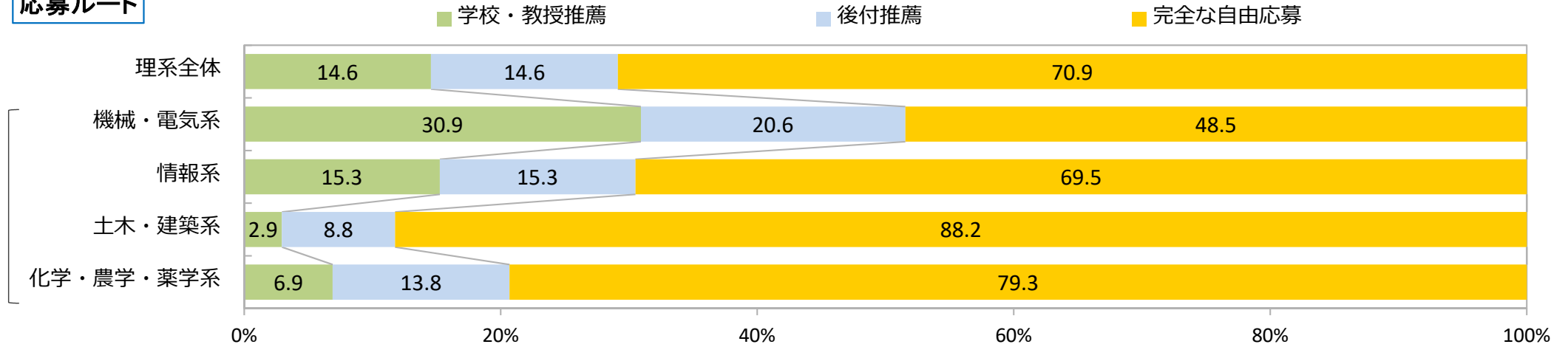
### 就職決定職種

順位	理系					(文系)	
	理系	機械・電気系	情報系	土木・建築系	化学・農学・薬学系		
1	研究・開発・設計系 36.7	研究・開発・設計系 60.5	IT系 70.7	建築・土木設計系 70.0	研究・開発・設計系 46.6	営業系	34.9
2	IT系 27.0	生産・製造・品質管理系 19.8	研究・開発・設計系 15.5	IT系	IT系 19.2	IT系	17.8
3	生産・製造・品質管理系 11.0	IT系 8.1	生産・製造・品質管理系 3.4	専門・スペシャリスト系 6.7	生産・製造・品質管理系 12.3	事務・管理系	15.7

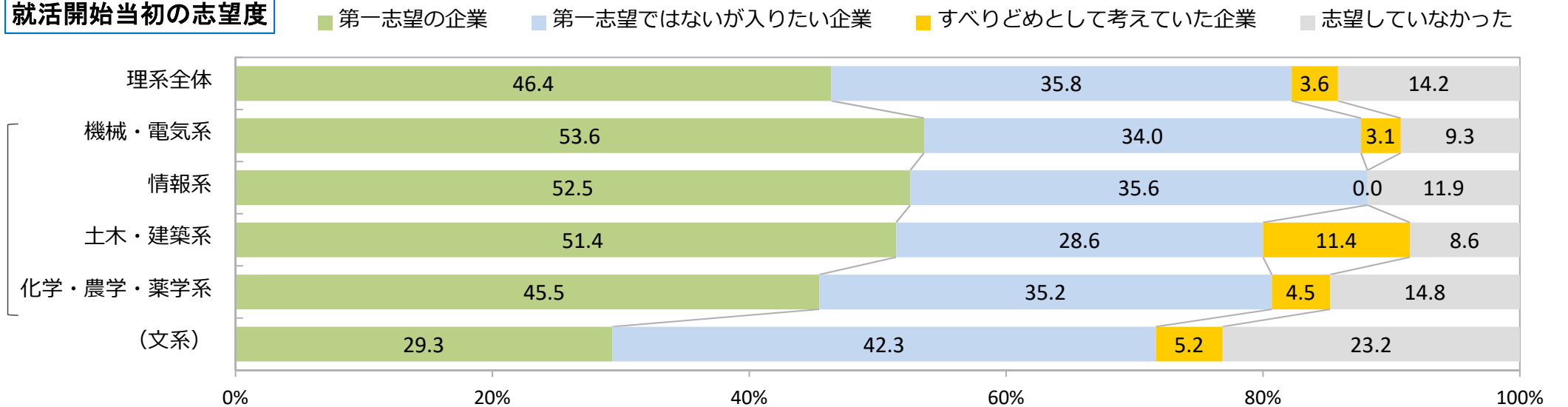
## 10. 就職決定企業への応募ルート、当初志望度

- 機械・電気系は「学校・教授推薦」での就職決定者が比較的多く、3割を超える(30.9%)。第一志望企業に決定した割合も高い(53.6%)。
- 土木・建築系学生は自由応募が9割近くに上るなど(88.2%)、専攻分野によって活動スタイルに違いが見られる。

### 応募ルート

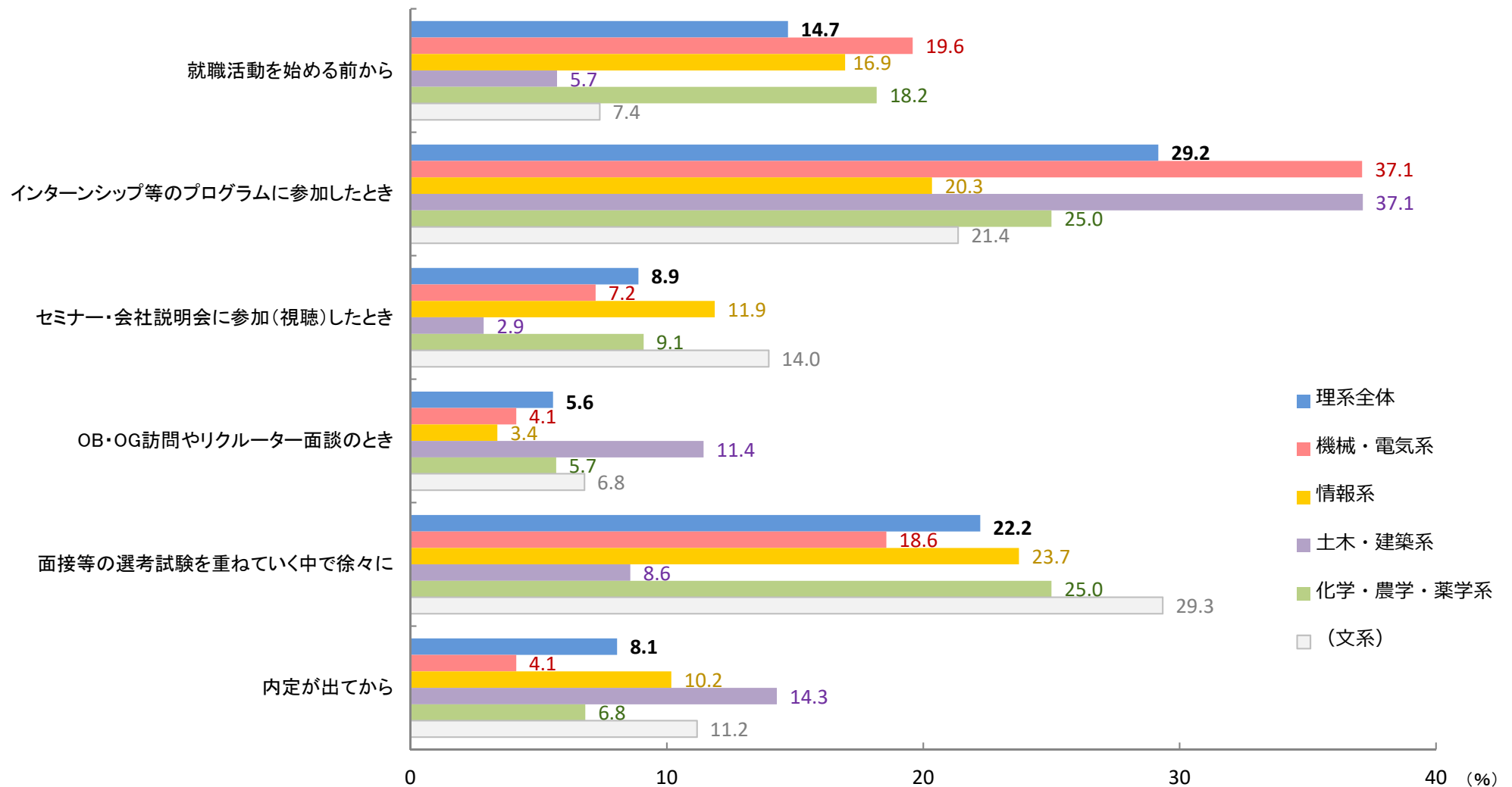


### 就活開始当初の志望度



## 11. 就職決定企業で働きたいと思ったタイミング

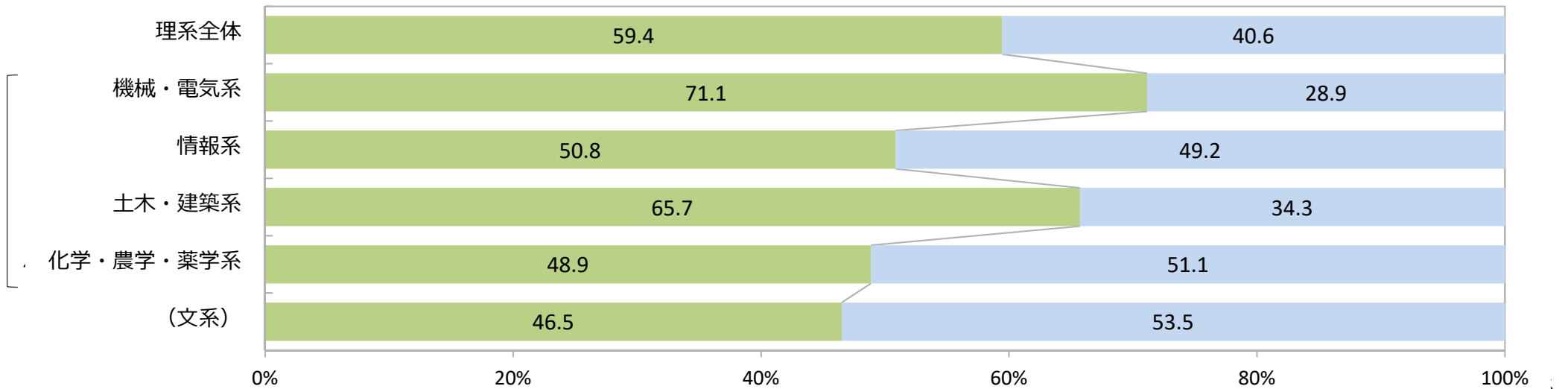
- 理系全体では「インターンシップ等のプログラムに参加したとき」が最多(29.2%)。特に、機械・電気系と土木・建築系で高い(37.1%)。
- 情報系と化学・農学・薬学系は「面接等の選考を重ねていく中で徐々に」が比較的高い。



## 12. 就職決定企業のインターンシップ等参加状況

- 理系学生の約6割が、就職決定企業のインターンシップ等に参加していた(59.4%)。文系(46.5%)を大きく上回る。機械・電気系と土木・建築系で高く(71.1%、65.7%)、化学・農学・薬学系学生は低め(48.9%)。
- 理系は文系に比べ、5日間以上のプログラムに参加していた割合が高い。中でも土木・建築系は3割を超える(34.8%)。

■ 就職決定企業のインターンシップ等に参加した    ■ 参加していない



### 就職決定企業のインターンシップ等参加日数 (複数回答)

	理系					(文系)
	理系	機械・電気系	情報系	土木・建築系	化学・農学・薬学系	(文系)
1日以内のプログラムに参加	52.3	46.4	60.0	47.8	65.1	65.2
2~4日間のプログラムに参加	30.8	39.1	13.3	21.7	25.6	32.2
5日間以上のプログラムに参加	23.4	26.1	30.0	34.8	11.6	7.7

※就職決定企業のインターンシップ等に参加した学生を分母に、参加者の割合を算出

## 13. 就職決定企業に決めた理由

- 上位10位の顔ぶれに、専攻による差はほとんど見られない。
- 文系理系ともに、1位は「給与・待遇が良い」。文理で共通の条件となっている。
- 理系学生は文系よりも「大企業である」や「有名企業である」の順位が高いのが特徴的。「希望の勤務地で働ける」も比較的高い。

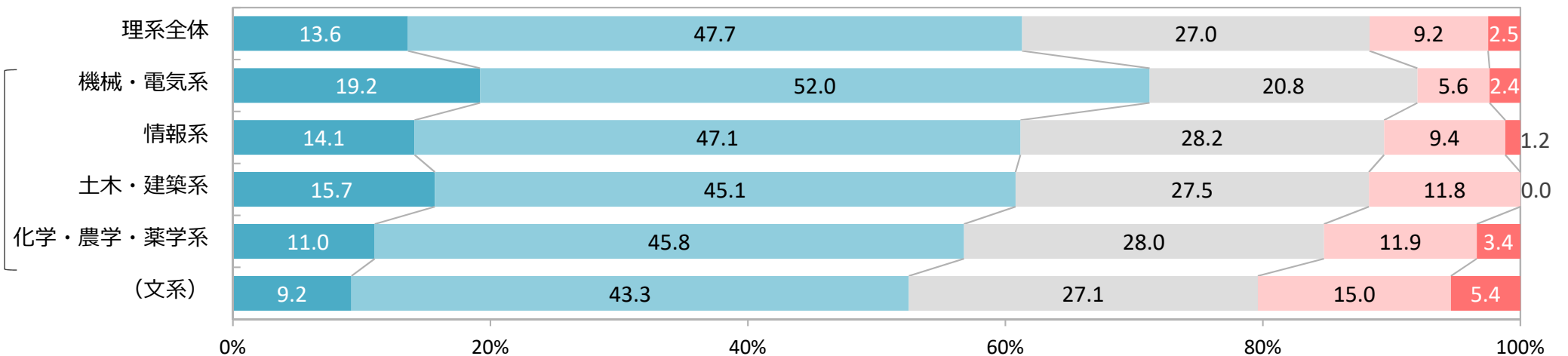
※5つまで選択 (%)

	理 系					(文 系)					
	機械・電気系		情報系		土木・建築系	化学・農学・薬学系					
1	給与・待遇が良い	35.8	大企業である	46.4	大企業である	40.7	有名企業である	給与・待遇が良い	36.4	給与・待遇が良い	30.5
2	大企業である	34.7	給与・待遇が良い	38.1	給与・待遇が良い	31.4	業界内の順位が高い	有名企業である	31.8	社会貢献度が高い	28.3
3	有名企業である	30.3	有名企業である	35.1	有名企業である			32.2	社会貢献度が高い	30.7	大企業である
4	業界内の順位が高い	28.1	業界内の順位が高い	25.8	将来性がある	30.5	大企業である	希望の勤務地で働ける	28.4	将来性がある	25.0
5	希望の勤務地で働ける	25.3	希望の勤務地で働ける		25.8			福利厚生が充実している	将来性がある	福利厚生が充実している	27.3
6	将来性がある	25.0	将来性がある	22.7	教育・研修制度が充実している	27.1	業績・財務状況が良い	給与・待遇が良い	22.9	大企業である	23.6
7	福利厚生が充実している	23.9	福利厚生が充実している	20.6	業界内の順位が高い			20.0	業界内の順位が高い	25.0	希望の勤務地で働ける
8	社会貢献度が高い	23.3	社会貢献度が高い	20.3	希望の勤務地で働ける	17.1	希望の勤務地で働ける	職場の雰囲気が良い	23.9	福利厚生が充実している	22.4
9	仕事内容が魅力的	21.1	仕事内容が魅力的		20.3			社会貢献度が高い	仕事内容が魅力的	仕事内容が魅力的	22.7
10	職場の雰囲気が良い	20.8	職場の雰囲気が良い	17.5	仕事内容が魅力的	職場の雰囲気が良い	職場の雰囲気が良い	将来性がある	20.5	仕事内容が魅力的	21.0

## 14. 就職環境への考え(売り手市場の実感)

- 今年の就職環境を「売り手市場」と感じる理系学生は6割を超える(計61.3%)。文系(計52.5%)を上回る。
- 中でも機械・電気系学生は7割超が「売り手市場」と回答(計71.2%)。第一志望の企業に内定している割合が高いことや、学校推薦での決定者が他の専攻分野より多いこと(12ページ)などと相関が見られる。

■ 完全に売り手市場だと思う ■ やや売り手市場だと思う ■ どちらでもない ■ あまり売り手市場だと思わない ■ まったく売り手市場だと思わない



### [Voice] 理系学生の声

- 理系技術職で女性の採用を積極的に行っているため、自分には優位だと感じた。 <土木・建築系/女子>
- 周囲や自分を振り返ってみても、複数社受ければ大体どこかには入れそうだった。 <機械・電気系/男子>
- 多くの企業が早期に学生を囲い込んでいる状況を見ると、売り手市場なのだろうと感じる。 <情報系/男子>
- 働き手が足りないがよく聞かすが、全然内定がない人も一定数いる。 <化学・農学・薬学系/女子>
- IT業界に限っては、新卒採用を強化している企業が多いため、売り手市場気味だと思う。 <情報系/女子>
- 業界によっても大きく異なると思う。食品業界に関しては中小企業も含めて倍率が高く、売り手市場を実感できるほど簡単ではないと感じた。 <化学・農学・薬学系/男子>